

会 議 録

会議の名称	第7回南方地域学校再編準備委員会		
開催日時	令和3年12月2日(木)		
	午後7時00分	開会	
	午後8時20分	閉会	
開催場所	南方総合支所 2階 大会議室		
委員出席者	阿部 修也	委員	南方小学校PTA会員
	佐藤 あす佳	委員	西郷小学校PTA副会長
	長倉 智幸	委員	東郷小学校PTA会長
	高橋 正則	委員長	南方中学校学校運営協議会長
	永浦 勝男	委員	南方小学校学校運営協議会副会長
	千葉 一則	委員	西郷小学校学校運営協議会長
	伊藤 幹生	委員	東郷小学校学校運営協議会副会長
	山田 俊道	副委員長	南方地域行政区長会会長
	嘉藤 由美	委員	南方幼稚園PTA会員
	浅野 貴弘	委員	南方保育所父母の会員
事務局出席者	白岩 登世司		学校再編推進室長
	千葉 道宏		学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長
	西條 文武		学校再編推進室主査
	佐藤 春香		学校再編推進室主事
欠席者	田口 一久	委員	南方中学校PTA会長
	佐藤 智行	委員	東郷幼稚園PTA会員
傍聴者	0名		
議事	(1) 南方地域学校再編準備委員会における検討経過について(報告) (2) 再編新校の位置について		
議事	事務局	開会 午後7時00分	
	委嘱状交付	新任委員へ委嘱状を交付	
	委員長選任	事務局案により委員長は高橋正則委員に決定	
	事務局	議事に入る前に、前回及び今回の議事の内容の確認を行う。 (担当より内容を説明)	
	事務局	前回の会議録について、配布した内容で公開してよろしいか。	
	委員	(異議なし。)	
事務局	会議録についてはお渡しした内容で公開する。 それでは、議事に入る。進行は委員長にお願いする。		
委員長	それでは、議事に入る。 議事1の南方地域学校再編準備委員会の検討経過について、事務局に説明を求める。		

事務局	(資料に基づき説明)
委員長	ただいま説明のあった内容について質問等あるか。
委員	前回の会議では、建替えもあるかという質問に対して、あり得るという回答だったが、今回の資料に新築の場合が含まれていないのはなぜか。
事務局	原則は既存校舎の活用としているため、今回の資料では各校舎を活用した場合での配置等のイメージを提示している。
委員	南方地域の小学校は、どれも築50年ほどで、改修しても10年ほどしか使用できないという話も出ている。改修しても10年後には建替えが必要になれば、無駄になるのではないか。新校舎を建てるならば、統合に賛成という人も多く、その人たちに説明して納得してもらうためには、新校舎の案といった資料も必要である。
事務局	前回までの会議内容も踏まえ、今回は既存校舎を活用する場合のイメージを提示し、それをもとに各団体での意見集約をお願いしたいと考えている。
委員	保護者からも新校舎という要望は多い。保護者への説明では、文部科学省でも既存校舎の活用が基本方針だということも説明している。南方地域の統合は、児童数の減少というより、学校施設の老朽化が激しいため、前期計画に入っていると認識している。保護者には、改修し増築しても、5年や10年しか使用できないということであれば、新校舎を建てた方がよいという話にもなってくるので、まずは、各校舎の状況や、どういった改修が必要になるか、どのぐらいの予算が必要になるかといったところを検討してからの話だと説明している。
委員長	<p>前回までに3校統合の方向性で進めるということが決まっており、今後は統合校をどの場所にするかについて検討する段階となる。新校舎を建てるのか、既存校舎の改修なのかといったことについては、この委員会は決定機関ではないので、南方地域の意見を集約して、市などに要望として出していくというものだと思う。会議の中で、既存校舎を活用した場合を検討し、これではできないということが色々出てくれば、別の方法も考えなければならないが、文部科学省の方針、予算のことなども踏まえながら意見を集約し、調整していかなければならない。</p> <p>そのほか、これまでの経緯について質問等あるか。</p>
委員	統合は、児童数が減少していくからだと思っていたが、校舎の問題によるものなのか。
事務局	その部分も含め、議事2で説明させていただきたい。
委員長	議事1の内容については以上とし、議事2に入ってよろしいか。
委員	(異議なし。)

委員長	議事2の「再編新校の位置について」、事務局に説明を求める。
事務局	(資料に基づき説明)
委員長	ただいま説明のあった内容について、意見等あるか。 確認だが、耐震工事はどの学校も行っているのか。また、耐震工事が終わった後の耐用年数の検査は行っているのか。
事務局	必要な耐震工事は行っていると思う。耐用年数の検査は行っていないが、日本建築学会が示している65年を一つの目安にして、劣化診断調査を行い、そこから使用できるかどうかを判断することになる。全部の学校を調査できればいいが、調査には相当な費用がかかるため、統合校として活用する学校を決めてから、その校舎に対して劣化診断調査を行う。先行している津山地域では、再編準備委員会で柳津小学校を改修して活用することを決めてから、劣化診断調査を実施した。
委員長	順序としては、統合校の位置が決まれば、その時点で、その校舎が使用できるかどうかを詳しく調査するという事か。 震災の時には、東郷小学校、西郷小学校でも大きな被害があり、そのようなことも考えていかなければならない。子どもたちにとって一番大事なものは、安全で安心な環境となる校舎を整備することだと思うが、そのためには地盤などのデータも必要になるのではないかと。 また、児童が増えた場合の不足部分について、南方地域は、どの学校も職員室がせまく、イメージ図を見ると、駐車場も含めてどれも足りていないと感じる。コンピュータ室や児童会室の転用という話についても、コンピュータ室が不要となるという話はどこから出たのか。確かにタブレット端末が一人1台となっているが、機材の保管やプログラミングの授業などもあり、コンピュータ室はどの学校にも必要で、最初から安易に転用することは違うのではないかと思う。
事務局	コンピュータ室は、タブレット型端末導入で将来的に必要ななくなると考えていたところである。コンピュータ室については、担当課と確認しながら進めたい。
委員	基本が改修増築だと、既存校舎の改修も確実に入ってくるのか。
事務局	既存校舎を活用する場合には、劣化診断調査と合わせて、改修内容の調査も行う。どの部分をどこまで改修するかは、その後の話になる。
委員	改修内容を決めるときに、私たちは入るのか。使っている人たちのほうが、施設のことをわかっている。実はここを直して欲しかったということが、後から出てきても、その時はもうできないと思う。
事務局	改修については、ご意見をもらいながら進めるが、予算のこともあり、やらなければならない部分と、どうしても我慢してもらおう部分とを精査していくことになる。

委員	我慢する部分が多くなると、何のために統合したのかわからなくなり、この会議の意味もなくなるのではないか。実際に使う人にとって使いづら いと、子どもの安全安心はできないのではないかと不安に思う。この会議 を開いているのに、いざ使うときになって、なぜこうなっているのかと、 残念な結果にならないでほしいと思う。
事務局	改修工事の際には実施設計で、改修内容を設計することになるが、開校 準備委員会の中で保護者や教職員などの意見を聞きながら、限られた予算 の中で可能な限り反映できるように努めたい。
委員長	先ほどの意見にもあったように、予算がないからといって、改修が意味 のないものになってしまえば、もっと不幸な話になる。良いものにするた めには、お互いで意見を合わせなければならない部分は出てくるが、どこ で合わせるか、そこまでの意思決定の過程をきちんとしていかないと不満 が出てくると思う。
委員	加賀野小学校は結構大きい学校だが、どれぐらいの経過年数のときに増 築したのか。
事務局	加賀野小学校は現在、築 38 年経過している。そこから考えると築 25 年ぐらいのときに増築している。
委員	そのときは、改修工事もしているのか。
事務局	改修工事もしている。
委員	築 25 年のときだとすると、南方地域の場合は各校とも 50 年ほど経過し ているので、比較しにくい部分があると思う。
委員	改修後、何年使用できるのかという話も出ると思うが、調査した結果、 5 年しか使用できないという結果になったら話は振り出しに戻り、再検討 するということになるのか。
事務局	劣化診断調査を受けないとわからないところだが、実際、使用できない という結果になれば、次のステップの検討に入らなくてはならない。
委員長	時間も限られているので、各小学校の長所と短所について確認していく ということよろしいか。
委員	(異議なし。)
委員長	まずは、南方小学校について、短所としては築年数が古く老朽化してお り、改修費用がかさむかもしれないということがある。また、敷地がせま く、入口を幼稚園と併用しているため出入りが難しい部分があるという印 象である。教職員や保護者の駐車スペースもなく、民有地を借りている部 分があると聞いている。

委員	市で契約し借りている部分がある。そこだけでは間に合わない状況である。校地に民家が隣接し、密集している部分があるので、注意が必要である。
委員長	校舎は、3小学校の中で一番大きく、増築分は小さくて済むが、土地の問題があるということか。
委員	道路から、バスが入るのも難しい。
委員	修学旅行などの大型バスも、何とかぎりぎり入っている状態でスペースに余裕がなく、幼稚園と併用しているため、保護者などの車の接触も心配である。
事務局	来年度から、東郷幼稚園と南方幼稚園が統合すると人数が増える。
委員	地盤は、南方小学校が一番良い。
委員	スクールバスの待機場所は、コンクリートにするのか。
事務局	待機場所は舗装での整備を想定している。
委員	そうすると、だいぶ校庭がせまくなる。
委員長	運動会するときなどはどうしているのか。
委員	借りている民有地に駐車しているが、今は保護者と祖父母が別々に来るなど、車の台数は増えている。
委員	3校統合したら、保護者も3校分集まるので、3倍の駐車場スペースを確保する必要がある。
委員長	次に、西郷小学校についてはどうか。 地盤が弱い印象があり、震災のときにも学校の前の公民館などに被害があったと記憶している。
委員	西郷小学校は校舎がわりと大きめである。
委員	西郷幼稚園の活用計画はないのか。
事務局	現在、具体的な計画はない。
委員	西郷幼稚園は教職員の駐車スペースとして使えるのか。
事務局	同じ教育委員会の施設なので融通はきくと思う。
委員	学校行事の時、保護者はどこに駐車しているのか。

委員	西郷のグラウンドに駐車している。
委員	西郷小学校は、周りの施設の環境は良いと思う。
委員	東郷からのスクールバスの時間を考えると、小さい子どもはかわいそう だ。
委員長	スクールバスの時間で考えると、中心にあったほうが当然時間は短くな る。 東郷小学校についてはどうか。 東郷小学校は、校舎そのものが小さく、増築部分が大きくなる。また、 駐車スペースが少ないが、東郷幼稚園を使わなくなれば、そのスペースを 使えるようになるのか。また、児童遊園はどうなるのか。
委員	児童遊園を駐車場として使用できれば、スペースを確保できると思う。 また道路がせまいので、交通安全対策が必要である。
委員	地盤が弱いため、震災時の被害も大きく、外階段を付けるなどして応急 的な使い方をしていた。
委員	地盤が弱いということもあるが、一番懸念しているのは、大雨のとき、 校庭まで水が上がる可能性が心配されるということである。面積的には、 幼稚園、児童遊園まで利用できればかなり広がる。
委員長	洪水の話があったが、東郷小学校は避難所指定されているのか。また、 3つの小学校の指定の状況はどうなっているのか。
事務局	3校とも洪水時の避難場所に指定されている。
委員長	学校として使うのが一番だが、その裏に避難所としての利用もあるの で、そういうところも考える必要がある。
委員	増築する場所は、どの学校も体育館の前だが、日当たりはどうなのか。
事務局	あくまで想定だが、間隔をあけて角度をつければ体育館にも日は当た ると考える。
委員	増築校舎を前に出したら校庭がせまくなるのではないか。
委員長	東郷小学校の場合だと、西郷小学校の場合とは逆に、西郷の子どもはス クールバスの時間が長くなる。 いずれも長所短所がたくさんあると思うが、本日の会議で一つに絞るの は難しいので、ほかに意見等がなければ、各委員の所属団体で、次回の会 議までに意見を聞いてきてもらいたい。次回の会議日程はいつごろになる か。

事務局	1月12日か13日に設定させていただき、本日の資料2の配置案をもとに各団体で意見集約していただきたい。
委員	前の保護者アンケートでも、既存だったらどの校舎がいいか、その他新設かという調査項目があったが、それとは別にまた聞くということか。
委員	そのアンケートの集計はもう出ているがもう一度同じようなことをやるのか。
事務局	これまでは、イメージ的なものは見せず、聞いてもらっていた部分があったので、今回はイメージを見ながら、アンケートということまでではなく、ご意見をいただければと考えている。
委員	イメージはどのように説明するのか。
事務局	ホームページで、この資料を公開しているので、そちらを見ていただきたいと考えている。
委員	統合時期が分からないので、ホームページを見ない人も多い。統合校の位置によっては、別の地域の学校を選ぶ人も出てくる。そうなると児童数はもっと減ることになる。
事務局	南方地域は、児童が区域外に流れている部分もあるのは把握している。
委員	そういった部分も頭にいれておかないと、統合の話は絶対にまとまらない。
委員	これを説明しても、またかということで、アンケート結果とさほど変わらないと思う。
事務局	アンケート結果も出ているが、今回の配置イメージの資料は初めて提示するものでもあり、可能な範囲で、もう一度ご意見を聞いていただきたい。
委員	時間が経てば、入学や卒業で、保護者も変わってくるため、一番懸念されるのは関心がなくなることなので、関心があるうちに検討してもらいたい。またかという飽きが出てきている部分もあり、我々もその点に注意しながら保護者の意見を聞いている。
委員	統合時期がはっきりしないのはなぜか。
事務局	統合時期を決めるためには、位置をどこにするか、どの程度改修するかといったことを検討する必要がある。
委員	それでは、なかなか決まらないと思う。
委員	一番早い解決策は、新築することだと思う。中学校と一緒に建てた方が、将来的には費用はかからないのではないか。

事務局	<p>中学校は中学校での再編ということになる。今回、各団体でも意見を集約していただき、今年度中にある程度の区切りとなるところまで進められればと考えている。</p>
委員長	<p>本日の会議をまとめると、既存の校舎を使う場合として、3つの校舎の長所と短所をそれぞれ確認した。各委員には、それぞれの団体で改めて会議を持つのではなく、機会があれば所属団体の意見を聞いてもらい、次の会議に臨んでもらうということによろしいか。</p>
委員	<p>(異議なし。)</p>
委員長	<p>では、次の開催日はいつごろになるか。</p>
事務局	<p>先ほどの説明でも話したが、1月12日か13日で設定させていただき、改めて通知する。</p> <p>なお、本日欠席の委員から、事務局に意見の伝達があったので報告する。意見は、「南方地域における学校再編の検討について、今後の見通し(予定)の資料も付けてもらえるとよりわかりやすい。会議の予定年月日や、議題内容、各調査の予定年月日、再編統合の期日等、今後の予定がわかる資料の添付を期待する。」というものである。</p>
委員長	<p>ほかに何もなければ、本日の議事を終了する。進行を事務局へ戻す。</p>
事務局	<p>以上で本日の会議を終了する。</p>
事務局	<p>閉会 午後8時20分</p>